

# 〔奨 励 賞〕 呼吸するスノーゴーグル「ROVO-MIT」



代表取締役社長  
山本 直之 氏

山本光学株式会社

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8

TEL. 06 (6783) 0232

<http://www.yamamoto-kogaku.co.jp/>



スキーやスノーボードで、ゴーグルに求められる最も重要な役割はクリアな視界の確保だ。「ROVO-MIT」は、独自開発したレンズのリフトアップ機構を搭載し、ワンタッチでゴーグル内の換気ができる。さらに、内レンズに従来の2倍の防曇性能を持つプレミアムアンチフォグ（PAF）加工を施しており、曇りを徹底的に排除する。

ゲレンデで長時間滑走していると、ゴーグル内部に曇りの原因となる温かく湿った空気がたまってくる。今回の新機構は、ゴーグルの両サイドのレバーを回転させるとレンズが前方に持ち上がり、フレームとの間に隙間ができ、ゴーグル内の湿気と外気を入れ替える仕組み。滑り終えて、リフトに乗車した際など、汗がどっと噴き出すが、ワンタッチで換気し、曇りを防げる。これまでのように、視界が悪くなるたびにゴーグルをいちいち外す必要がなくなる。

内レンズ表面にはスポンジのような吸水性を持たせるPAF加工を施した。従来品に比べ、吸水量が2倍のコーティング液と加工法を新開発した。外レンズには3層構造のフラットシートを射出成形して製作したミラーインサートテクノロジーレンズ（MIT）を採用。紫外線など有害光をカットするとともに、レンズの傷つきを防ぎ、安全な視界を保てる。

「ROVO-MIT」は2016年7月に販売を開始。価格は2万円台のハイエンド品だが、同年のスキーシーズンに約6000個を売り上げた。山本光学はスポーツ用サングラス、ゴーグルの有力メーカー。「SWANS（スワンズ）」ブランドで知られ、プロ・アマを問わず幅広い人気を持つ。